

◇死は人生で、最大・最後の課題です。なぜなら、人は必ず死ぬのに、誰一人死者として、死を恐れぬからです。

死生学研究会

セミナー (講演会)

「死の不安の解消」と「生と死」について語ろう!

全体セミナーの内容

第1部・講演…2時間30分 (前セ:約2時間)	① 医師が直面する患者の死と、患者が直面する死の不安。
② 死生観の歴史から見た、「死とは何か」。	③ 「死の不安の解消」について。
④ 各人が死生観をどう確立し、それをどう伝えていくか、死生は意識一体。	⑤ 死別の悲しみ、心の開放、不坐禅の権、書きなぐり、自分図(Jibunzu・禅的悟り)、なぜ死んではいけないの…?
第2部・生と死の討論…50分	…自由参加、部分セミナーは都道府県版。
※部分セミナーの内容は、その都度変わります。	(※セミナーは、死の哲学的考察に基づいております。)

医師が直面する患者の死 (A)

① 日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代。
② 医師は、がん宣告や余命告知で患者の死に直面。医師が一番死を恐れている (アンケート調査の結果)。
③ 緩和ケアが十分に行われると、痛みからの解放と同時に、死そのものの恐怖が一面に裏切られる。
④ 死の恐怖の原因は、死ぬ苦し、自己の消滅、死後が分からない点等にある。
⑤ 日本人は死を考えようとしてない、死の受容が苦手な国民。
⑥ 日本は、がん患者の精神的ケア体制が不十分。医師は、自分で納得できる死生観を固め、患者に思いやりのある治療を。

約20分

患者が直面する死の不安 (B)

① がんや余命の告知→死の不安が始まる
*緩和ケア開始→体の痛み、心の痛み
② 何かの間違いないかと思ふ。
③ なぜ自分が…怒り、悲しみ、嘆き、苦しむ…
④ 重い心で立ち上がり…
⑤ 情報を集め、セカンドオピニオン (第2の意見) を求める。
⑥ がんの場合：手術・放射線治療、抗がん剤治療等から選んで方針を決める。
⑦ 治療の開始→1. 治療 2. 再発 3. 死亡
⑧ 再発は備える→死の不安、再発無く治療。
⑨ 再発→治療率は低下する。
⑩ 末期状況→緩和ケア… 死の不安→死の覚悟、体の痛み→医療用 (オピオイド) 等心の痛み (死、病氣、経済的不安等) … 寄り添い、話しを聞く→死の受容

10分

死生観の歴史から見た「死とは何か」 (C)

① エジプト時代→古代エジプト→その後
② ギリシャ時代→古代ギリシャ
③ 釈迦
④ 孔子
⑤ キリスト
⑥ ムハンマド (イスマエル)
⑦ ティカルト ⑧ バスカル ⑨ カントとゲーテ
⑩ キルケゴール ⑪ ヘーゲル ⑫ フロイト
⑬ パーソリス ⑭ シューペンハウアー
⑮ ニチエ
⑯ ティアルタイ
⑰ ジンメル
⑱ ハイネカー
⑲ マスハース
⑳ ヌルトル

① 日本人の死生観
自然神 (神道)、仏教、キリスト…
② 現代の死生観
死の意識の時代…
③ 死とは何か
生物学的には…

約70分

死の不安の解消 (D)

① 宗教や信仰による方法
他力：キリスト教、イスラム教、浄土宗・浄土真宗 (仏教) 等
自力：禅宗 (仏教) 等
その他：仏教の一つ… 星になつて星守る、天國で待っている、生まれ変わりを信じる…その他。
② 神・来世・魂などが信じられない…
③ 死との最後の出会い
④ 死は生との別れ
⑤ 死は眠り
⑥ 死ぬまで「死なない」と思い続ける方法
⑦ 遺言が受け継がれると考える方法
⑧ 解脱集・開生五十年による死の不安の解消

20分

「開生五十年」による「死の不安の解消」 (E)

開生五十年の具体的な「瞑想的」方法
① がんの宣告・余命の告知→頭の中が真っ白になる。頭に浮かぶ事をそのまま、マニラ等書きなぐる。
② 患者→思いの流路
③ 開生五十年の実現
④ 人生の完結→求めるものがなくなる

20分

「自分図」による「死の不安の解消」 (F)

① 自分図 (自分)
② 自分図 (他人)
③ 自分図 (動物)
④ 自分図 (植物)
⑤ 自分図 (無生物)

20分

★死の不安が少しでも軽減され、ほっとしたお気持ちになられましたら幸いです。

講師：内田 誠 (死生学研究会代表)

【略歴】
1941年、東京都八王子市生まれ。都立立川高校卒。
1960年～1971年、東京文芸大 (現国立文芸大) に脚燈。
1966年、東京理科大理学部物理学科卒。
1971年、日本大学文学部哲学専攻 (通信) 卒。
1973年、日本大学文学部英文学専攻 (通信) 卒。
(2009年、日本臨床死生学会委員)

★この資料は、参加者の皆様が必要ななく、話の内容が今どこなのかを確かめるために便利のように、講演内容を流れ図的にまとめたもので、「全体セミナー」と「部分セミナー」共用です。

お問合せ：死生学研究会 田島直美 TEL. 090-6164-2864 (内田 誠：042-624-1385)
HP： <http://www.w2.ocn.ne.jp/~saisiken/>
◇死に直面、死の哲学書などで検索可◇2008-2016 死生学研究会

各人が死生観をどう確立し、それをどう伝えて行くか。 (F)

① 各人の死生観の確立
② それをどう伝えて行くか。
③ 死とは…生物学的には…
④ 死とは…宇宙の中の…

20分

死別の悲しみ・心の開放 (G)

① 死別の悲しみを乗り越えて
② 心の開放と心の自由の獲得
③ 鈴木大拙 (だいていせつ)… 権・悟り
④ 鈴木大拙 (しゅうざん) とハイネカー… について
⑤ 不坐禅の権 (ふざぜんのけん)
⑥ 第一→アンケートへのお答え

20分

「自分図」による「死の不安の解消」 (F)

自分図 (自分) … 自己と他者の関係 (2004/4/8)
自分図 (他人) … 自己と他者の関係 (2004/4/8)
自分図 (動物) … 自己と他者の関係 (2004/4/8)
自分図 (植物) … 自己と他者の関係 (2004/4/8)
自分図 (無生物) … 自己と他者の関係 (2004/4/8)

20分

ご気分が悪くなりましたら、直ぐにお申し出下さい。